

化学工業日報

2010年(平成22年)
11月29日 月曜日

第21987号 (日刊、土・日・祝日除く)

発行所 化学工業日報社

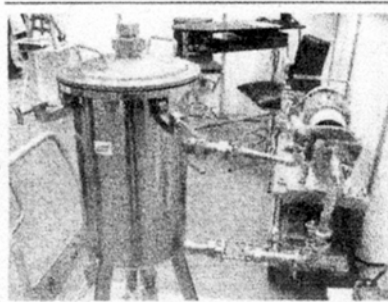
本社・〒103-8485 東京都中央区日本橋浜町3-16-8
☎03-3663-7931(代)

新聞編集	☎3663-7934	企画編集	☎3663-7936
新聞販売	☎3663-7932	J C Web	☎3663-7933
新聞広告	☎3663-7933	大阪支社	☎06-6110-9871
出版編集	☎3663-7935	名古屋支局	☎052-238-3553
出版販売	☎3663-7932	シンガポール支局	☎6324-9878
化学経済編集	☎3663-2730	上海支局	☎21-52730031

© 化学工業日報社 2010

マイクロバブルで 高品位の乳化可能

エウレカ・ラボが新型装置



新方式の乳化装置「エマル
ジョナイザー」

エウレカ・ラボ(静岡
県焼津市、片山誠一社長、
電話054-65610
188)は、新方式の乳
化装置「エマルジョナイ
ザー」(商品名)を開発、

受注活動を始めた。特殊
な高圧遠心ポンプとマイ
クロバブル発生用のバル
ブ、サンプル貯蔵槽との
循環システムにより、気
体と液体を循環させなが
ら高品位の可
溶性・乳化処
理を可能とし
た多機能乳化
装置。エマル
ジョン燃料製
造をはじめ炭
酸飲料などの
飲料用、化粧
品や食品加工
分野など幅広

く適用できる。

エウレカ・ラボは元静
岡県立大学薬学部准教授
の片山氏が同大学在職中
の2008年に設立した
ベンチャー企業。乳化・
分散装置は化学製品や食
品、化粧品などのプロセ
ッシングに用いられてい
る。従来はかく拌機、ホ
モミキサーなど回転かく
拌翼により機械力がかき
混ぜて乳化させるパッチ
式が多く採用されてきた
が、時間の経過とともに
エマルジョン状態の保持
が難しくなるなどの課題
があった。

「従来の化石燃料と水
の乳化。化石燃料のほ
か、気体―化石燃料―水
将来的にはエタノール、
ブタノールなどバイオ燃
料や化石燃料との混合燃
料のエマルジョン化も視
野に入れている(片山社
長)とする。飲料水、食
品加工、化粧品など幅広
い分野で受注活動を進め
る。価格は最大流量毎分
100リットルタイプで100
0万円から。高速遠心ポ
ンプ、バブル発生バルブ
の販売にも対応する。

新開発のエマルジョナ
イザーは高圧遠心ポン
プ、マイクロバブル発生
バルブ、サンプル循環シ
ステムで構成。高圧遠心
ポンプは気体30%混入可
能な特殊タイプ。気体と
液体の混合溶液は高速回

転翼により圧縮、遠心、
かく拌、せん断力が働き
乳化し、次いで特殊バル
ブによりマイクロバブル
を発生させて微細化・乳
化を促進し、さらにサン
プルを再度高圧遠心ポン
プに戻す循環システムに
よりムラのない均一の状
態に高める。